

## 11月の山岳遭難発生状況（H14年～H28年）

平成14年から平成28年までの11月中は、14件28人の山岳遭難が発生しています！  
 （遭難者の内訳 ～ 死亡6人、行方不明0人、負傷11人、無事11人）

### ○ 初冬季の登山は、夏山登山と比較してリスクが高い

- ・雪崩 ～ 気温の変化が大きく、積雪が安定していない斜面への進入はルート選定を慎重に行う必要があります。
- ・道迷い ～ 「降雪により登山道が分からない」「吹雪で目標が見えない」ことにより道に迷うケースがあります。  
 地図、コンパス、GPSを活用し、道迷い遭難を防止しましょう。
- ・滑落 ～ 低山でも風当たりが強い斜面は凍結しているのでアイゼンが必要です。  
 ストックやピッケルでバランスをとることも転倒、滑落防止に有効です。

### ○ 低体温症の予防

- ・気象（天候、気温、風速等）に応じた服装（帽子、手袋、ウェア）を着用する。
- ・行動中はこまめな「給水」と「エネルギー補給」に心掛ける。

※ 毎年、初冬季になると上ホロカメットク山の安政火口周辺に多くの登山者が入山しますが、この時期は天候が不安定な日が多く、大雪が降った翌日は雪崩の危険性が高くなるので、斜面の雪質状況をよく確認して慎重に行動して下さい。

山岳名など	発生年月日	犠人数	遭難者	原因	備 考
上ホロカメットク山 (1,920m) 上富良野町、新得町、 南富良野町	平成19年 11月13日（火）	2	無事1	雪崩	20代男性が上ホロ小屋稜線からスキーで滑降中に雪崩が発生し、同雪崩に巻き込まれて埋没したが同行者が救助
	平成19年 11月23日（金）	11	死亡4 負傷1 無事6	雪崩	50～60代の男女11人パーティーが安政火口付近を歩行中に雪崩が発生し、全員が雪崩に巻き込まれて男女4人が死亡
	平成25年 11月24日（日）	5	死亡1 負傷4	悪天候	40～60代の男女5人パーティーが十勝岳温泉登山口から入山し、三段山を経由して上ホロ避難小屋に向かう途中、通称「大砲岩」付近で天候が悪化して暴風雪となり、稜線直下の斜面でビバークしたが、1人が低体温症で死亡、4人が軽傷を負う
三段山 (1,748m) 上富良野町	平成28年 11月19日（土）	2	負傷1	滑落	50代女性が凍結した雪面で足を滑らせて、約100メートル滑落し前額部を負傷
樽前山 (1,041m) 苫小牧市、千歳市	平成19年 11月5日（月）	2	無事1	道迷い	40代男性が仲間と樽前山ヒュッテから山頂を目指して入山したが、途中で仲間と離れた後に錦岡コースへ迷い込む
	平成20年 11月9日（日）	1	負傷1	転倒	40代男性が山頂付近を下山中、強風にあおられて転倒し、右足首を負傷
旭岳 (2,291m) 上川町	平成16年 11月14日（日）	1	無事1	疲労	20代女性がロープウェイ山麓駅から単独入山したが、4合目付近で約40センチメートル積雪があり、疲労と寒さから行動不能となる
室蘭岳（鷲別岳） (911m) 室蘭市、登別市	平成18年 11月4日（土）	1	負傷1	転倒	60代男性が南根コース8合目付近を下山中、笹の根に足をとられて転倒し、左上腕等を負傷
芦別岳 (1,727m) 富良野市	平成24年 11月18日（日）	1	無事1	悪天候	20代男性が旧道コースから入山して山頂を目指したが、北尾根付近を登山中、吹雪によるホワイトアウトで進行方向が分からなくなり、山頂西側で2日間ビバーク
恵庭岳 (1,320m)	平成25年	1	死亡1	滑落	50代女性がポロピナイコースから入山、2合

千歳市	11月2日(土)				目手前にある砂防ダムを通過する際に登山道の間違って砂防ダム上流方向へ進行し、標高510メートル付近で南側急斜面を登ろうとして滑落し、頭部を強打して死亡
朝日岳(598m) 札幌市南区	平成26年 11月8日(土)	3	負傷1	転倒	40代女性が3人パーティーで岩戸公園から入山、山頂から下山中、豊林荘コースとの分岐を過ぎた地点でバランスを崩して転倒し、左足首を負傷
札幌岳(1,293m) 札幌市南区	平成26年 11月11日(火)	14	負傷1	転倒	30代男性が14人パーティーで冷水コースから入山、山頂から下山中、冷水小屋前の凍結した地面で足を滑らせて転倒し、右足首を負傷
赤岩山(中チムニー) 小樽市	平成26年 11月15日(土)	5	負傷1	転落	20代男性が5人パーティーで通称中チムニーと呼ばれる岩場でロッククライミング中、地面から約3メートルの高さから転落し、右足を負傷
十勝岳(2,077m) 上富良野町、新得町、 美瑛町	平成26年 11月29日(土)	1	無事1	道迷い	50代男性が望岳台から入山、十勝岳山頂からソリ滑りをしながら下山中、十勝岳北東斜面に入り込み下山方向が分からなくなる

- 11月に入ると気温が一段と低下し、平野部で雨が降っていても標高の高い山の上ではみぞれや雪になっていることがあります。  
降雪後は登山道が雪に埋もれて見えなくなり、ルートを見失い道に迷いやすいので地図を見て現在地を確認しながら行動しましょう。
- 雪が積もった登山道は、運動靴やトレランシューズだと足先が冷えて感覚がなくなり、歩行に支障が出るので冬用登山靴を履く必要があります。

※ 平成27年11月中には山岳遭難の発生はありませんでした。